

四万十市議会だより

No.67
2021. 11. 1 発行

～もくじ～

- 議案 1ページ
- 一般質問 4ページ
- トピックス 18ページ

令和3年第1回臨時会

四万十市議会第1回臨時会は、8月11日に1日間の会期で開催されました。「専決処分の認定」2件、「工事請負契約」1件の議案が提出され、慎重に審議をおこないました。

議案番号	件名	結果
1	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度四万十市一般会計補正予算について(第5号))	全会一致認定
2	専決処分の承認を求めることについて(工事請負契約の一部変更について)	全会一致認定
3	工事請負契約について	全会一致認定

令和3年9月定例会

四万十市議会9月定例会は、9月6日に開会し、9月27日までの22日間の会期で開催されました。今期の定例会には、「令和2年度決算の認定」15件、「令和3年度補正予算」6件、「条例の改正」5件、「その他」6件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、14名が「新型コロナウイルス感染症対策」、「大学誘致」、「学校再編」などについて質問を行いました。一般質問は4ページから掲載しています。

議案番号	件名	結果
1	令和2年度四万十市一般会計決算の認定について	全会一致認定
2	令和2年度四万十市国民健康保険会計事業勘定決算の認定について	全会一致認定
3	令和2年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定決算の認定について	全会一致認定
4	令和2年度四万十市奥屋内へき地出張診療所会計決算の認定について	全会一致認定
5	令和2年度四万十市後期高齢者医療会計決算の認定について	全会一致認定
6	令和2年度四万十市と畜場会計決算の認定について	全会一致認定
7	令和2年度幡多公設地方卸売市場事業会計決算の認定について	全会一致認定
8	令和2年度四万十市住宅新築資金等貸付事業会計決算の認定について	全会一致認定
9	令和2年度四万十市鉄道経営助成基金会計決算の認定について	全会一致認定
10	令和2年度幡多中央介護認定審査会会計決算の認定について	全会一致認定
11	令和2年度四万十市介護保険会計保険事業勘定決算の認定について	全会一致認定
12	令和2年度四万十市園芸作物価格安定事業会計決算の認定について	全会一致認定
13	令和2年度四万十市水道事業会計決算の認定及び利益の処分について	全会一致認定及び可決
14	令和2年度四万十市下水道事業会計決算の認定について	全会一致認定
15	令和2年度四万十市病院事業会計決算の認定について	全会一致認定
16	令和3年度四万十市一般会計補正予算について(第5号)	賛成多数可決
17	令和3年度四万十市国民健康保険会計事業勘定補正予算について(第1号)	全会一致可決
18	令和3年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算について(第2号)	全会一致可決
19	令和3年度四万十市奥屋内へき地出張診療所会計補正予算について(第1号)	全会一致可決
20	令和3年度四万十市介護保険会計保険事業勘定補正予算について(第1号)	全会一致可決

21	令和3年度四万十市水道事業会計補正予算について(第1号)	全会一致可決
22	四万十市税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
23	四万十市固定資産税の課税免除に関する条例	全会一致可決
24	四万十市災害見舞金の支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
25	四万十市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例	全会一致可決
26	四万十市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
27	四万十市過疎地域持続的発展計画を定めることについて	全会一致可決
28	辺地総合整備計画を定めることについて	全会一致可決
29	辺地総合整備計画の変更について	全会一致可決
30	財産の無償貸付について	全会一致可決
31	訴えの提起について	賛成多数可決
32	動産の買入れについて	全会一致可決

議案の賛否の状況

	小出 徳彦	宮本 幸輝	白木 一嘉	宮崎 努	川村 一朗	安岡 明	平野 正	上岡 正	山崎 司	谷田 道子	垣内 孝文	西尾 祐佐	大西 友亮	酒井 石	松浦 伸	川渕 誠司	上岡 真一	山下 幸子	廣瀬 正明	寺尾 真吾
第16号議案	議長	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×
第31号議案	議長	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×

9月定例会に提出された請願、陳情

請願1件、陳情2件が提出されました。いずれも賛成少数で不採択となりました。

請願	件名	請願者	紹介議員	結果
1	下田中学校の存続を求める請願	下田小学校・下田中学校 保護者 有原 陽子	松浦 伸 垣内 孝文 大西 友亮	不採択

陳情	件名	陳情者	結果
1	中平正宏市長の不信任決議を求める陳情書	中平正宏市長の不信任決議を求める市民の会代表 宮崎 等	不採択
2	下田地域唯一の指定避難場所（下田中学校）の施設存続・維持について	下田区長 岩瀬幸吉	不採択

議案の賛否の状況

	小出 徳彦	宮本 幸輝	白木 一嘉	宮崎 努	川村 一朗	安岡 明	平野 正	上岡 正	山崎 司	谷田 道子	垣内 孝文	西尾 祐佐	大西 友亮	酒井 石	松浦 伸	川渕 誠司	上岡 真一	山下 幸子	廣瀬 正明	寺尾 真吾
請願1	議長	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×
陳情1	議長	×	×	×	棄 権	×	×	×	×	○	棄 権	×	棄 権	×	×	○	×	×	×	×
陳情2	議長	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×

ここを質す!

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	廣瀬正明 (一問一答)	1 新型コロナウイルス感染症の対応 2 土砂災害の予防 3 中筋川流域の治水対策 4 中学校の統合 5 ソーラー発電所	4
2	西尾祐佐 (一問一答)	1 観光振興 2 保育行政 3 子育て支援 4 介護施策 5 ドローンの活用	5
3	川渕誠司 (一問一答)	1 大学誘致 2 下田中学校再編問題	6
4	上岡真一 (一問一答)	1 住んでよかったです町づくり 2 学校教育 3 高齢者支援	7
5	山下幸子 (一問一答)	1 防災 2 ふるさと納税 3 広報誌活用 4 希望と安心のまちづくり	8
6	大西友亮 (一問一答)	1 公私連携幼保連携型認定こども園 2 大学誘致	9
7	松浦伸 (一問一答)	1 農業施策 2 奨学金制度 3 国道441号の改良	10
8	平野正 (一問一答)	1 教育長の所信を伺う 2 原発に対する基本的考え方 3 風力発電等 4 大学誘致 5 超高速ブロードバンド環境整備事業 6 公式ホームページのリニューアル 7 水道事業 8 長雨による被害状況 9 市有林	11
9	寺尾真吾 (一問一答)	1 新型コロナに伴う飲食店等の支援策 2 保育のビジョン 3 四十万市産材利用促進方針 4 四十万市産材利用促進事業 5 山を育む取り組み	12
10	川村一朗 (一問一答)	1 コロナ禍の医療 2 自然エネルギー 3 災害時の避難	13
11	谷田道子 (一問一答)	1 学校再編 2 大学誘致 3 新型コロナ感染拡大	14
12	垣内孝文 (一問一答)	1 大学誘致に関する市長の政治姿勢 2 本市のコロナワクチン接種の状況	15
13	安岡明 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 本市教育の諸課題 3 地域産業の促進策	16
14	上岡正 (一括)	1 保育行政 2 大学誘致に伴う課題 3 下田中学校再編の市長の決断 4 新食肉センター整備 5 下田中学校用地未登記 6 市単独事業	17

一般質問は9月13日(月)から15日(水)の3日間行われました。

市議会だより

廣瀬
正明
議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



安心して暮らせる四万十市

コロナウイルス感染症の対応について

災害防止を意識した森林の整備を

右岸側にも左岸側と同等の治水対策が必要ではないか?

質問 感染者が増えると自己療養者も増える。

質問 家族への感染・病状悪化による死亡等について市の考えは?

質問 早期入院治療・保護者が入院した時の子どもへの対応・介護者の入院・療養施設の確保・乳幼児の感染への対応は?

質問 豪雨・長雨に対する不安を聞いている。

質問 ハザードマップを見ても四万十市内に危険個所は無数にあり、土木工事での対応には限界がある。土砂災害を予防するため急傾斜地には広葉樹を中心とした植栽が必要ではないか?

質問 妊婦の感染は、胎児への深刻な影響が心配される。妊婦専用の病床の確保は出来ないか?

答弁 感染者への対応は県の役割である。市では、感染予防のため市民への注意喚起を行っている。



中筋川の治水対策について

質問 中筋川左岸側の治水対策は進んでいる。

答弁 これまで、100%再編賛成となつた校区はない。

い中学校の統合について

質問 学校統合は保護者全員の同意を得て行うべきと考

えていた。下田中学校については、統合を延期し更に時間をかけて話し合いをすべきではないか?



施策推進において、すべての方に同意を得て進めることは行政の理想だが、それは難しく、最終的に意見が割れ、調整ができない状況のときは、責任ある立場の者が、必要とされる時期までに、判断を下さねばならないと考えている。

質問 中筋川ダムと横瀬川ダムの洪水調節や河川流量を確保する樹木伐採等で流域の治水安全度は大幅に向上、また、左岸の総合内水対策が本格化する一方、右岸では無堤地区解消に取り組んでいる。

このように、上流から下流域まで左岸右岸に関わらず必要な治水対策を行っている。

質問 過去に火災が発生したソーラー発電所がある。火災原因は何であったのか、現在安全対策は取られているのか?

答弁 他事例で、火災原因は、直流ケーブルがショートし発火したものがあつた。太陽光発電設備のメンテナンス及び事故報告は義務化されている。

ソーラー発電所について

西尾 祐佐 議員

観光振興 民間保育所の障害児加配 子育て支援 ケアマネジャーの処遇改善 ドローンの活用について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

観光振興について

四万十川キャンプ場のトイレ環境の改善について進捗を問う

質問 四万十川キャンプ場のトイレ環境の改善について進捗を問う

答弁 国の「かわまちづくり」支援制度に申請し、キャンプ場周辺エリアでの魅力化を図ることを考えている。



四万十川キャンプ場

民間保育所の障害児加配補助について

現状での補助内容について問う

質問 現状での補助内容について問う

答弁 市のパート保育士雇用の時間単価で計算し、最大185万1234円を上限とし補助している。

設が必要だと考えるが、検討はしているか

質問 雨天時に遊べる施設を求めるニーズは十分把握をしているが、具体的な検討にはまだ至っていない。

現状では各事業所、施設とも、ケアマネの数は足りないと認識している。

質問 預かる障害児も多くなっている現状、改善すべきだと思うがどうか

答弁 民間保育所等と再度意見交換をし、受け入れやすい体制をしっかりと作つていきたないと考えている。

質問 課題を整理しながら活用の可能性や方法について検討していく。

質問 今後、様々な理由や課題で不足してくると懸念されているが、処遇改善についての考え方を問う

子育て支援について

5歳頃からの子ども達が利用できる公的な屋内施設について

質問 近隣市町村で不足しているとの声も聞くが、四十市の現状を問う

答弁 まずは地域住民の方も含めた関係機関等と協議会を設立し議論を重ねる。次年度中には計画を策定し、その後トイレを含めたエリア一帯での整備につなげていきたい。

ケアマネジャーの処遇改善について

ケアマネの重要性について市の認識は

質問 大変重要な役割を担っていると考えている。

質問 市内の稲作共同防除で使用している大型送風散布機が近年中に壊れるのではなく心配されている。その後の取組みとして農薬散布に有効であるドローンの普及を積極的に進めてはどうか

答弁 今後は補助制度を活用した集落営農組織等へのドローンの導入が必要になってくると考えている。集落営農組織や地区に対して、ドローン導入の意向の確

ドローンの活用について

質問 今後、様々な理由や課題で不足してくると懸念されているが、処遇改善についての考え方を問う

質問 課題等を整理のうえ、可能なものから改善に取組むとともに、国・県への要望も行っていく。

市議会だより

川渕 誠司 議員



大学誘致について 運動場がない? 実習受け入れ病院はあるの? 5~10年後は留学生頼み? 法人へ10億円の支援? 下田中学校統合問題について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

大学誘致について

質問 実習の病院は確保できているのか

質問 施設の中に図書館、体育館、運動場がないが、大学設置基準をクリアできるのか

答弁 図書館ではなく図書室を設置する。授業に運動室は整備しない。法人からはクリアするものと聞いている。

質問 市は法人に対して、上限10億円の補助金を出すことについている。これには市

答弁 内諾を得た病院はあるが、承諾書をもらっている病院はまだない。

下田中学校の再編問題について

質問 下田中学校の再編問題について

質問 市は法人に対してもどこの自治体も行っていない運営支援が含まれているが、これは断るべきはないか

答弁 誘致する立場であり、できるだけ法人に協力したいという考え方から、運営支援も含め上限10億円とした。

質問 存続を求める保護者は半数存在しており、市長案をもつて保護者の合意に代わるものとすることはできない。過半数の20世帯が賛同した、統合に期限を決めない「保護者同意案」を認めるべきではないか

質問 存続を求める声は承知しているが、合意形成過程は終えたと考えている。請願が出されており、議員の判断を仰ぐ。

質問 法人は学生確保の面から、幡多看護専門学校の吸収合併を考えているようだが、市長の見解は

答弁 幡多看護専門学校と競合するのではなく、幡多地域の進学先の選択肢が増えるという考えである。法人にはそのことを理解してもらつており、現時点では吸収合併の考えは全くないと思っている。

質問 法人から、まだ統合が決まっていない下田中学校を活用して大学を開設したいという話があつたときに、市長はなぜ断らなかつたのか

質問 下田地域唯一の指定避難所(下田中学校)の施設存続・維持を求める陳情があり、下田地区の区長、自主防災会長ら8人の連名で議会に提出されている。執行部の受け止めは

答弁 大学を指定避難所にすることについて、今ある防災機能を低下しないことを基本方針に、大学側、地域とそれ協議を進めている。

答弁 法人は海や西南大規模公園のある下田での開設を強く希望し、市としても中医学研究所を活用してもらえるのは良いということ

答弁 法人は海や西南大規模公園のある下田での開設を強く希望し、市としても中医学研究所を活用してもらえるのは良いということ



下田中学校



上岡 真一議員

住んでよかったです町づくり

答弁 本市での協力雇用主の登録件数を、高知保護観察所に尋ねたところ、6事業者という事で伺つてゐる。

質問 今年度、本市の中学校で、英國数理社の5教科の免許外担任はいるのか

質問 前歴のある人たちが再犯や再非行に陥らないためには、仕事に就き、職場に定着して責任ある社会生活を送る事が重要。全国で約2万4千の事業主が協力しているが、本市に協力雇用主は何人いるのか

答弁 都道府県計画は大部 分の都道府県が策定済み だが、市町村計画について は、全国的にも作成が進ん でいない状況で、本市にお いても、現在まだ策定には 至っていない。

質問 本市では再犯防止推進計画を作成しているのか

社会を明るくする
運動

住宅への入居支援を行つ
てゐるのか

質問 体音美技家の技術系の免許外教科担任数は

門教員がいないので、学校や生徒に負担をかけること
も多々ある。



免許外教科担任制度

小規模校は大丈夫か

質問児童生徒はどこで過(こ)しているのか

免許外が2校、4校が非常勤講師で対応し、技術では免許外が8校、家庭科では7校という現状。
答弁 一学期に10日以上の欠席の不登校児童は小学校16名、中学校40名。

質問 本年度の一学期、不登校児童生徒数は

不登校児童生徒について



市議会だより

山下 幸子 議員



今後の災害に備えて。 助け合い、支え合える町づくりの中で。

今後の災害に備えて

広報誌の活用について

希望と安心のまたづくりについて

ふるさと納税について

多くの女性が活躍している一方で、防災や復興に関する意思決定の場で、女性の参画割合がまだまだ、低いことが課題になつていいことが、男女共同参画基本計画では、市町村における防災会議の委員に占める女性の割合を、2025年には30%を目指すとあるが、この目標について本市での取組みは

質問 市民にとつて、広報誌の役割はどうなのか。あまりに広報誌を見ていない、読んでいないとの声に、広報誌に対する市民の意識調査は行つてきたのか

質問 市役所窓口での、フードバンク受け付けは、いつから可能となっているのか
答弁 令和2年10月より、市役所の福祉事務所窓口及び、西土佐支所の住民分室窓口でも受け付けを開始いたしました。

質問 企業版ふるさと納税の適用期限が、令和2年度の税制改正で令和6年度まで延長されている。本市においての企業版ふるさと納税の現状はどの様なものか

答弁 市内には、自主防災組織、防災士、消防団員として積極的な活動をされてる女性の方も多くいます。これまでのように、関係機関の職員等を中心とした委嘱だけでなく、防災面の知識、経験にたけた個人の方を委嘱するなど、来年の3月に委員の委嘱がありますので、それに向けて新たな取り組みを考えて進めてまいります。

答弁 現時点では、意識調査は行っていないが、今年度市のホームページのリニューアル作業を行っている。ホームページ上で簡単にアンケートができる機能を構築する予定としている。現状の満足度や、市民が望まれる記事はどういったものかといった視点での、アンケートを行つていければと考えております。

質問 発達障害への正しい認識と理解の啓発として、パンフレットなどを活用した取り組みについてその後の進展はどうなつているのか

答弁 啓発物として、リーフレットを市内の店舗や医療機関等の待合で、目にとめて見てももらえるよう、配布する準備を行つてある。



大西 友亮 議員



公私連携幼保連携型認定こども園について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

隣接住民との協議について

質問

6月議会後市長と議長、教民の委員長とで隣接住民と園の事について話し合が行われた。その場で住民の方から色々な意見が寄せられたと思うが、その中で市長の方から園と話し合い、協議をしていくと言つていたが、その後、園どの様な協議や話し合が行われたのか伺う

答弁

市長、議長、教育民生常任委員長と園で、解決策に加えて、どの様な形でお返しするか等について協議を行つた。現在は、園としてその協議内容をもとに、理事会に諮る予定であると伺つている。

質問 隣接住民の方も園と出来るだけ良好な関係を築いていきたいと思っている。園の方も良好な保育をするためにも隣接住民と良好な



関係を築いていきたいと思つていい。しかし当初のボタンのかけ違いから現状はそうはなつてない。

これは当初からの市の説明にも問題があつたようだ。今後どの様に住民と園の間に入つてどの様に寄り添つていくのか伺う

答弁

これまで色々な行き違いがあり、それを解決するためには、同じテーブルで双方が話し合いの場につき、話をするのが解決策の一つではないかと思う。

答弁

プロポーザルの委員については10名としており、第1副市長、総務課長、企画広報課長、財政課長、子育て支援課長、健康推進課長、まちづくり課長、学校教育課長、そして保育所長から市長が選任した2名で審査をおこなつた。

透明性がないという指摘については、通常市が行つているプロポーザルの委員の人数より多い10名を選定しており様々な立場の職員を選任することで透明性を確保していると考へていい。

プロポーザルについて

質問

今回このこども園のプロポーザルに関しては、色々な項目に関する審査をされているが、その選定委員についてどの様な人物が審査をしてきたのか。審査委員の全員が市長に人事権があり、公平性、透明性が担保されるものではないと思うがその点伺う

大学誘致について

質問

今後社会人、留学生を受け入れなければならぬと言う答弁があつたが実習先の病院にはこの事を伝えているか。このままだとせつかく実習先として手を上げてくれたのにその病院にも混乱を招くのではないか



答弁 病院との意見交換の中では、留学生の実習に関する話は行つていない。また、医療機関からも、そのような話はない。

市議会だより

松浦 伸 議員



農業施策 奨学金制度

コロナ禍の中での農業について

質問 本市としてコロナ禍の中での農業の現状を把握できているか

答弁 一部の品目において感染症拡大に伴い、飲食店の休業等の影響により、業務用需要の減少に伴い、卸売市場などでの売上げが減少するなど影響を受けている。反面、すこもり需要の増加による、消費の増加などもあり、影響を受けてない品目があるなど様々な状況があると把握をしている。

収入保険について

質問 コロナ禍等での市場価格の下落、自然災害等での減収など、様々になりスクから農業経営を守る収入保険制度がある。本市の加入状況の把握は

答弁 令和3年度現在、40人。

良い制度だと認識しているが40人は少ないのではないか

質問 良い制度だと認識しているが40人は少ないので要因を把握しているか

答弁 加入の要件として、複式簿記等での帳簿作成も必要となる青色申告が必要となっていることだと思われる。

また、類似の国の制度に加入している場合、原則どちらか一つに選ばなければならぬことなどもある。

また、本市には現在野菜価格差補給金制度があるため、収入保険の加入にまで至っていないケースも想定される。

なお、収入保険制度が始

まつた平成31年は33人、令和2年は35人、令和3年が40人と、若干の増加傾向にある。

質問 黒潮町は農家負担掛金の2割を町が助成して加入者を増やしていると聞く。本市の加入者増に向けての取り組みは



コロナ対策として収入保険への掛金への助成というのが黒潮町や四万十町で実施されている。本市は、コロナ対策として本市独自の支援を行つていいので、収入保険の掛金への補助といつたことは実施していないし、その予定もない。

なお、国の補助事業によって収入保険への加入が条件となっている場合もあるので、その際に対応できるよう今後も引き続き、農業関係機関と連携の上、制度周知や加入への斡旋など、啓発に取り組んでいただきたい。

医療系奨学金制度について

質問 令和3年6月議会前の総務常任委員会の中で、「本市独自の奨学金制度の検討をする」と聞いているが、調査・検討されたのか

答弁 現段階では、調査研究段階であり、具体的な検討には至っていない。人材確保の観点から、若い世代が市内に定住していただけるような制度を考えていきたいが、制度の創設については、慎重に考えたい。

質問 本市の病院奨学金制度の創設状況は

答弁 高知県看護職員就職ガイド2021年版によると、本市では民間3病院が病院奨学金制度を創設されている。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

平野 正 議員

久保教育長・所信表明。 原子力発電は自然・再生エネルギーで終結を!! 風力発電は今後、市も関与する。 分収林 5保護組合が合意。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



久保教育長は、教育は人づくり、まちづくり、国造りと言われるが、四十万市教育振興基本計画にうたわっている「ふるさとを愛し、夢と志をもつて、未来を切り拓く人材の創造」オール四十万で学びあい、高めあい、つながりあう人の育成、これらの人材教育理念を学校教育、社会教育を通して具現化することが、四十万市総合計画の中で、基本構想として描かれている四十万市の目指す将来の姿「人が輝き、夢が生まれる悠久と躍動のまち四十万市」にぎわい、安らぎ、きらめきのあるまちづくりを実現することにつながると、考える。これこそが、教育長としての職務と考える。

答弁 まず原発にかわるエネルギーを構築していく必要があると思う。一番発電量が多いのは、石炭を原料とした火力発電

質問 それでは原発をどのように終結したら良いと考えるか

答弁 今再稼働をしている原発については、しっかりと安全性を担保した上で、情報を公表し、そこの中で安全にやつて行く、将来的に原発に依存しない社会をつくることは、国民共有の思いであると思う。

ではないかと思う。特にこの火力発電は、昨今の異常気象、特に温暖化等の原因の一つになつてゐるようであるので再生可能エネルギーを普及し、進めて行く形が必要ではないかと考えている。

関わって行きたい。

教育長の所信表明

原子力発電

質問 久保教育長の所信を伺う

答弁 将来的に原発に依存しない社会を構築して行くという考えは全く変わっていない。

答弁 今日本の情勢では、増設、新設は、かなり厳しいものがある。

答弁 分収林について、話合いは進んでいる。環境調査は、令和2年3月から7月にかけて、観測塔を3か所設置し、風況観測を開始している。風力発電は、環境影響評価など、適正に行われ地元の方々の了解があれば環境に優しい発電であり、将来的にも原発に依存しない社会をつくるという観点からも、できる協力は、と考えている。

質問 分収林について、話合いは進んでいるか



分収林



風力発電

風力発電

大藤風力発電計画のその後の状況は

答弁 分収林の各保護組合から、分収権を買い取つてほしいとの要望を受けて協議をしている状況です。

答弁 環境調査は、令和2年3月から7月にかけて、観測塔を3か所設置し、風況観測を開始している。

風力発電

答弁 これまでに上古尾、竹屋敷、大西ノ川、住次郎、大屋敷地区の五つの組合の合意を得、分収権の買取りをした。

質問 分収林について、話合いは進んでいる。

答弁 残りの保護組合も現在、協議を進めている。

答弁 今後、この大藤風力発電の問題について市としても

市議会だより

寺尾 真吾 議員



“新型コロナに伴う支援策・新設の認定こども園・市産材利用・木育”を質問しました。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

支援策について

質問 新型コロナに伴う支援策は

答弁 様々な業種への影響が長期化し、現時点では感染終息の見通しは立たない。現在、事業継続のための追加支援策を検討準備している。

公私連携幼保連携型認定こども園について

質問 認定こども園が作られた目的は年度途中の待機児童問題の解消や、保護者が望む多様なニーズに対応するため。休日保育等の実績と評価は

答弁 市内で休日保育を実施している施設は民間の2施設。本年4月から8月までの日曜祝日は29日間であり、2施設で延べ108人が利用、うち88人

質問 官民の保育士交流による保育の質の向上は図られているか

答弁 昨年度から実施。今年度も継続しており、保育の水準が向上すると期待している。

質問 良い実績により休日保育等のサービスを望む保護者は多くなると考える。今後の取り組みは

答弁 保育士の数は限られているために、公立保育所での休日保育の実施は困難だが、土曜午後保育の拡充に取り組む。

質問 行政と事業者の連携が市産材利用では大事。安定的な体制づくりのために本市がリードすべきでは

答弁 まずは各業界での業者間の連携が必要。市は各

四万十市産材利用促進方針について

質問 職員の方針理解が薄まつてきている。ゆえに、まずは民間3施設で実施、4月で256人が利用、うち122人が認定こども園。子育て支援の拡充に効果があると評価している。

が認定こども園。病児保育は民間3施設で実施、4月で256人が利用、うち122人が認定こども園。子育て支援の拡充に効果があると評価している。

質問 林業担当が市産材利用の知識・経験を深め、各課の公共建築、改修等に対しても助言やサポートに取り組まないか

答弁 担当は人事交流や国・県の研修に参加し知識を深めているところ。公共建築物に関する情報は各課と共有していく。



市産材を活用した川崎保育所

木育について

質問 子どもへの木育は大切。木の良さを体験する取組は

答弁 保育現場では木を感じ、木に触れる環境を取り入れている。例として積み木や木の実を使つたクリスマスリース作りなど。小学校では4校が山の学習支援事業に取り組んでいる。

業界の考えを聞き、どのような形で安定的な体制が作れるか意見交換を行う。

質問 文化複合施設の建設に市産材を利用する事業があり、応援をしている。市産材の利用をするだけでなく、市民理解の醸成を図るために撮影したコンテンツ作りに取り組まないか

答弁 パネル等を作成して施設内に展示する。この取り組みを通じて市産材の利用や効果を周知したい。

市議会だより

谷田 道子 議員



☆下田中存続について ☆大学誘致補助金について ☆コロナ感染、自宅療養の対策を



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 下田中学校は今後の生徒数などを考えた場合、極めて小規模になるのではないか。
答弁 下田中学校は今後の生徒数などを考えた場合、極めて小規模になるのではないか。この請願には20世帯から賛同が寄せられている。だから一部の保護者ではない。これが保護者の総意だと言うべきではないか。見解を問う

質問 保護者は特認校として残してほしいということでお請願を出している。この請願には20世帯から賛同が寄せられている。

答弁 下田中学校を下田小学校の三階に移設し、1年生2年生は下田中学校で卒業する。



質問 大学側の強い要望で、下田中学校を活用したいと言われた時に、統合が決まつてないので使用出来ないとなぜ言えなかつたのか

答弁 誘致をしていく立場として、できるだけ学校法人に協力したいという強い思いがあるので、運営費用も支援の一つとして考



質問 運営資金や施設設備費の補助金、上限10億円を学校法人に出すことになつている。だが、運営は大学の責任で行う事で、運営資金を支援することはやめるべきではないか。
見解を問う

質問 運営資金や施設設備費の補助金、上限10億円を学校法人に出すことになつている。だが、運営は大学の責任で行う事で、運営資金を支援することはやめるべきではないか。
見解を問う

質問 市長の結論では、2年後に統合するとなつているが、2年後に統合しないといけない理由はない。見解を問う

質問 下田中学校を存続させることについて

答弁 いか。また下田小学校の三階に行くということで、教育環境が決してよいとは言えない。

質問 子供たちの教育を考えた場合にするべきではないと考える。子供たちの教育を考慮するとずつと存続をさせると考えられる。このことは、これから先の将來を考えた場合、これ以上時間を延ばすと大学誘致が全く白紙に戻ってしまう。

質問 確かに当時統合は決まっていなかつたが、教育委員会は複数回出向き解を得る努力をしていた。また下田地区・四万十市の将来を考えた場合、これ以上時間を見切り発車でしだれども決断をした。

質問 県と市が連携して取り組むため、自宅療養者の個人情報の取り扱いに関する通達が出ている。

質問 自宅療養をされている人に支援を届けるために、県にどのような働きかけや要望ができるのか。その見解を問う

質問 コロナ感染による自宅療養について

答弁

これまで幡多管内では自宅療養の方はいないのではないか。昨年の12月には、協定書を締結しており、県の保健師の不足が見込まれた場合には、市の保健師を派遣することとなつていて。自宅療養が安全な見通しの下に、最小限に抑えられることは当然であり、そのための協力依頼があれば、協力は惜しまない。

垣内 孝文 議員



・大学誘致に伴う下田地区の既存防災施設等の機能維持について ・児童施設等の高台移転について ・下田エリアの将来展望について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問

地区住民の不安要素
でもある中学校校舎及び
体育館は災害発生時に、約
500世帯、1200人を

想定する避難所に指定さ
れているが両施設が大学
施設となつた場合、住民の
避難場所等はどう確保す
るのか

質問

中学校体育館内の学
童保育施設の移転につ
いては

答弁 来年度以降について
運営委員役員と意見交換
を行い、既存施設を中心にて
保護者が希望する施設の
確認など取り纏めを依頼
している。

質問

都市計画マスタープラン
にある下田エリアのまち
づくり構想は

答弁 四万十川と太平洋、大
規模公園や自然環境を活
かした観光ネットワーク
を強化、交流促進、賑わい
と地域活力の増進を図る。

質問

中学校の統合に絡め防
災上等の懸念に対し住民不
振を招いている。関係各課
を統括、一元化を図るべき
ではないか

答弁 今後副市長を中心にて
情報共有を図る。



下田中学校

質問

隣接の防災活動拠点
施設や体育館内の備蓄倉
庫等はどの様になるのか

答弁

避難所の機能維持につ
いては今ある防災機能を低
下させないことを基本方針
とし、大学・地域それぞれ
と協議を進めている。

質問

隣接の防災活動拠点
施設や体育館内の備蓄倉
庫等はどの様になるのか

答弁

大学側との協議におい
て、防災活動拠点施設、耐
震性貯水槽、自家発電施設
等は市の管理施設とする。
体育館内の備蓄倉庫は現在
の駐車場部分へ新たな施設
整備を検討している。

答弁

現時点では津波浸水区
域外への移転計画は無い。

質問

防災上の子供の命を
守る視点から、対面する八
束地区保育所は高台移転
しているが下田地区の児
童施設等の高台移転につ
いては

質問

市長の下田エリアの開
発ビジョンは

答弁

大学誘致が実現され
ばまちづくりの拠点施設
となる。この効果を最大限
發揮させ大学をどう生か
し本市のまちづくり、下田
地区の開発を進めていく
ことが鍵となる。大学と周辺
施設を関連付けた整備で
相乗効果を高めることが
重要と考える。

り組んでいきたい。

科省への意見書等県の協
力を頂きながら幡多6市
町村と誘致実現に向け取

質問

幡多地域の悲願であつ
た大学誘致。本市以外の幡
多の市町村、県の協力体制
構築の状況は

答弁

昨年度定住自立圏形
成に關し看護系大学の誘
致を加え協定を締結。学校
法人に対し、6市町村長名
による要望書を提出。幡多地域
が連携し誘致する事とし
取組を開始した。知事から
も幡多に大学ができるの
は夢のよう県としてもで
きる限りの応援をさせて
もらうと言われている。文
部科学省への意見書等県の協
力を頂きながら幡多6市
町村と誘致実現に向け取

質問

幡多地域の悲願であつ
た大学誘致。本市以外の幡
多の市町村、県の協力体制
構築の状況は

答弁

昨年度定住自立圏形
成に關し看護系大学の誘
致を加え協定を締結。学校
法人に対し、6市町村長名
による要望書を提出。幡多地域
が連携し誘致する事とし
取組を開始した。知事から
も幡多に大学ができるの
は夢のよう県としてもで
きる限りの応援をさせて
もらうと言われている。文
部科学省への意見書等県の協
力を頂きながら幡多6市
町村と誘致実現に向け取

市議会だより

安岡 明 議員



地域経済の立て直しと若者支援の推進を!

選挙公約の実現への取組

質問 今回の市長選はコロナ禍、過疎化の中での様に本市の未来を拓くかを託された結果と考える。これから地域経済の立て直しへの重点的推進策と市民病院医師確保の見通しについては

答弁 地域経済の立て直しは、産業振興、インフラの整備など全てに関係する。喫緊の課題は新型コロナで冷え込んだ市内の産業を取り組み支援してきた。国の方で検討が始まったワクチンパスポート等、ウイズコロナに対応した経済対策を図っていく。市民病院は4月から濱川院長が就任され高知大学との連携が構築、幡多けんみん病院との関係も強化されると考える。来年度の常勤医師についても1名が前向きに検討してくれている。

質問 最近の中国共産党の強引な霸権主義に脅威を感じている人は多く、大学誘致に不安の広がる中で大学誘致効果の理解浸透は難しい。看護大学との協

質問 看護大学の誘致は下田でも活性化のチャンスだが、法人と中国との関係を危惧する情報もあり、海外からの生徒募集の不安の声があるがその対応策は



中医学研究所



定書第7条にこの基本協定に関して疑義が生じたとき云々とある。そういう不安の声に対し心配のないようしつかり協定書に入れ込むことが安心感を得ると思うが

答弁 先ほどの「第7条その他、この基本協定に関する事から誤解が生じていれば、産業振興、インフラの整備など全てに関係する。法人理事長が京都に設立したB学院とが連携して入学ルートを構築していくことから誤解が生じていい」として甲乙協議を定めるものとする」としてあり、それ以外の事が発生したらきちんと協議の上定めていく。

質問 昨年6月奨学金支援制度が拡充され、現在香南市等で既に導入されている。若者の定住にも繋がる支援制度を本市も早急に導入を図るべきでは

答弁 当制度は、人口減少克服、地方創生の観点からも重要な取組と考える。府内の関係各課と連携し、出来ただけ早く前向きに進めていきたい。

「奨学金支援制度導入」について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

上岡 正 議員



土曜日午後の延長保育を拡大せよ 大学誘致に伴う諸課題について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 私は、議員になつて3ヶ月目、平成26年9月議会に土曜保育の延長をすべきと質問しました。前向きな答弁を頂き、平成28年4月から実施する事が出来ました。しかし、その後他の園に拡充することも無く、今日に至つております。再度市長のお考えをお聞きします

答弁 私は、誘致大学は20年先30年先大丈夫なのか?

ます。大学誘致をする立場として、新学部設置に係る経費については、出来る限りの協力をしなければなりません。

その為経済効果の推計や、

重々承知しております。

そ

れ

が

こ

と

か

な

く

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

い

な

ます。大学誘致をする立場として、新学部設置に係る経費については、出来る限りの協力をしなければなりません。

その為経済効果の推計や、

市財政の運営等についても、議員からもご提案頂きました。昨年の12月議会

で議員からもご提案頂きました。

とおり、ハウスプラントを

民間に貸し出し、試験研究

を継続してお願いするこ

となどを考えております。

答弁でも申し上げました

とおり、ハウスプラントを

民間に貸し出し、試験研究

を継続してお願いするこ

となどを考えております。

とおり、ハウスプラントを

新型コロナウイルス感染症に対する市議会の対応

市議会では、令和2年4月に策定した新型コロナウイルス感染症に対する行動指針および対応方針を一部改正しました。行動指針では、市議会が行政と連携して感染防止や経済対策等の情報を市民に周知することなどについて、対応方針では、議員や市役所職員等が新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触の疑いがある場合の議会運営や情報共有のあり方について定めています。

新型コロナウィルス対策のための行動指針（抜粋）

- 「高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安」を参考とし、本市及び幡多地域の感染状況等を勘案のうえ、感染拡大防止のための行動を率先して行うとともに、市民への積極的な周知を行う。
 - 国、県の経済対策等の情報を正しく理解し、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた経営環境の持続、安定のために、必要な情報の周知又は広報に努める。
 - 個人情報及び人権に配慮した、開示すべき確実な情報を、行政と協議、精査し、不確実な情報や噂などの流布は一切容認せず、誹謗中傷、風評被害などによる市民の不安解消に取り組む。
 - 今後、更なる拡大防止対策はもちろんのこと、人権への配慮、経済活動の支援など市民の不安解消に向けて、行政と連携・協力して全力で取り組む。

四万十市議会の新型コロナウイルスに対する対応方針 (抜粋)

○市議会としての危機管理

- (1) 議員は、下記に該当する場合には必ず議会事務局に申し出るものとする。
ア 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている。
イ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。
ウ 家族に上記ア又はイの症状がある人がいる。

(2) 議員に上記のとおり発熱等の風邪症状がみられる場合は、登庁を控える。

(3) 傍聴者が「傍聴人受付簿」において体調不良を申告した場合は、傍聴の自粛を要請する。

○感染等の防止の取り組み

- (1) 手洗い・咳工チケットの徹底
議員控室や会議室の周辺に設置しているアルコール消毒液を積極的に使用するなど、手洗い・咳工チケットを徹底する。
 - (2) マスクの着用
新型コロナウィルスの感染経路は飛沫感染、接触感染であると考えられることから、会議出席中はマスクを着用するものとする。
 - (3) 会議室の換気
本会議や委員会の休憩時に、会議室の窓や扉を開けて換気を行う。

○感染者等の報道機関等への公表基準

議員が感染者となった場合については、氏名、年齢、症状、経過等を公表するものとし、濃厚接触者となった場合については、公表しないものとする

【新型コロナウィルス 開会中の対応フロー図】

フロー図内の「感染等」は、「市議会議員、市職員、議会来訪者が感染し、又は濃厚接触者を含む感染の疑いがある」ことを指します。

令和3年度「住民と議会との懇談会」の中止について

例年、開催しています「住民と議会との懇談会」を、本年度も中止します。

世界的に新型コロナウイルスが従来型より感染力が高いデルタ株に移行しているなか、感染者増大が予想され、終息の見通しが不透明であることなどから、高齢者の方々の参加が多い懇談会の開催は難しいと判断したためです。

なお、本年度の「住民と議会との懇談会」は中止としますが、議会に対する意見提言や情報交換の機会を持つことは大変重要ですので、地区の皆さんから意見、要望等が寄せられた際には対応を協議させていただきますので、情報提供をお願いします。

傍聴の際には検温のご協力を願いします。

四万十市議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、議会傍聴の際には、入室前の検温、住所、氏名の記入、手指消毒をお願いしています。検温で 37.5 度以上が計測された場合には、傍聴を控えていただきますようお願いします。

着座の際は、隣同士ではなく、間隔を空けてお座りください。



編集後記

委副委
委員長
廣報広聴委員会
廣山松山平川宮谷寺
瀬下浦崎野村崎田尾
正幸 一 道真
明子伸司正朗努子吾

日増しに秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じることも多くなりました
が、いかがお過ごしでしょうか。
さて、広報誌等でもお伝えした
通り、「住民と議会との懇談会」は
昨年に引き続き、本年もコロナの
状況を鑑みて中止とさせていただ
きました。大変に残念な思いです。
皆様の議会に対するご意見等につ
いては議会事務局（電話 088
0・34・5071）までお問合
せください。
今回の「議会だより」から各議員
のページ上端にQRコードを貼り
付けております。
QRコードをスマホで読み込み
ますと、各議員の一般質問の動画
を見る事ができます。議会だよ
りでは伝えきれない一般質問の内
容を全て見ることができますので、
ぜひご視聴ください。また、動画を
見る際にはデータ通信量にご注意
ください。
こここのところコロナワクチンの
効果により感染者は少なくなつて
いますが、冬場となりますので感
染予防にはご留意してお過ごしく
ださい。

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は12月6日からの予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

(西十佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます)

※議会会議録は議会専用ホームページ（<http://city.shimamoto.gsl-service.net/>）で閲覧できます。
(令和3年9月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は12月中旬の予定です。)

[市議会のホームページは…]

URL:<http://city.shimanto.gsl-service.net/>

[You Tubeによる議会ライブ中継・録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuozoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

※市議会ホームページからもご覧になれます。

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のLINEは…]

LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』